

令和6年度 瀬田東学区ヘルスバレーボール大会要項

- 1) 開催日 令和6年6月23日(日)
- 2) 開催時間 午前9時15分集合(13時までに終了)
・受付 午前9時15分(組合せ抽選)
・開会式 午前9時30分
- 3) 開催場所 瀬田公園体育館
- 4) 参加人数 各自治会1チーム6名(中学生以上、男女問わない、4名以上で試合可能)
※登録人数の制限なし(監督1名選出(選手兼任可))
- 5) 競技方法 ①各自治会チームによる2コート(Aコート、Cコート)でのリング戦とする。ただし、チーム数によりこの限りではない。
②3セットマッチ(2セット先取)、1セット15点とする。
(デュースなし、15点先取でセット終了)
③試合球はヘルスバレー球を使用する。
④ネットの高さは2.0mとする。
⑤タイムアウトは各チームとも不慮の事故(競技者のけが等)を除き、いかなる場合もこれを認めない。
⑥補助役員は担当自治会から点示2名、線審2名の計4名とする。
⑦試合終了後、5分以内に次の試合を開始する。ただし、試合が連続する場合はこの限りではない。
⑧選手交代はフリーとする。
⑨サーブ順、ローテーションについては競技当日説明する。
⑩2回~5回で相手コートに相手コートにボールを返す。(1回、6回以上は相手方の得点となる)
⑪その他については、「ヘルスバレーボールレクリエーションルール」に準ずる。
- 6) 順位決定 ・次の優先順のとおり順位を決定する。
1. 勝利数の多いチーム
2. 総得セット-総失セットの多いチーム
3. 総得セットの多いチーム
4. 総得点-総失点の多いチーム
5. 総得点の多いチーム
6. 抽選
- 7) 表彰 コートごとに1位、2位を表彰する

瀬田東学区スポーツ協会
ホームページ



- 6) その他
- 組合せ抽選は当日会場にて行う。(各自治会代表者は9時15分に協会受付に集合)
 - 空きコートがある場合は、練習、交流場所として開放する予定である。
 - 上靴(体育館用の靴)と下靴との区別をつけること。
 - 体育館(アリーナ)での飲食は原則禁止とする。(ただし水分補給は可)
 - 審判への抗議や相手チームへの暴言・やじなどは厳に慎み、フェアプレー精神を心がけること。
 - 会場における競技中において万一負傷されても応急処置は行いますが、その後の責任は負いません。(ただし、1日スポーツ保険に加入しています(死亡・後遺障害200万円、入院3,000円/日、通院2,000円/日))
-

【参考】ヘルスバレーボールレクリエーションルール

- 人数は、1チーム4人から6人とし、相手チームと合わせなくてもよい。チーム内男女比率自由。
 - 交代は、主審の判断により適宜できる。インプレー中はだめ。
- コートは、バドミントンコートのダブルス用のラインを使用する。
 - 示して確認をする。
- ラインの上方延長上にボールがかかっている場合はインとする。
 - 着地地点ではない。
- じゃんけんでサーブコートを決める。
- サーブは右前の人が行い、自分のチームに得点が入ったら時計回りにローテーションをする。
 - 1人が2回続けてはいけない。※注意のみ
- サーブは、サービスラインの内側から投げ入れる。
 - ボールをつかんではいけない。※注意のみ
 - ジャンプサーブは不可とする。※注意および相手チームに1点
- サービスがネットに触れて相手コートに入ってもOK。ゲームは続行する。
- ボールは2回～5回で自分のコートおよびサイドでパスをしてから返球する。
 - 1回で返球してしまった場合は相手方の得点となる。
 - 選手のからだのどの部位にボールが触れてもよい。
 - ただし、ボールを抱え込んではいけない。(ホールディング)
- 同一人物が続けてボールに触れることはできない。(ドリブル)
 - ただし、2人以上で同時にボールに触れた場合はその限りではない。
- ボールがネットに当たって跳ね返ってきた場合のみ続けて触れることができる。(ネットボール)
 - ※2～5回
- オーバーネット、タッチネット、パッシングセンターラインは主審の判断により、危険性がないおよび相手チームと接触しなければOK。
- 判断のつかないジャッジやプレーが中断したときは、再プレーとする。
- いかなる場合も主審への抗議は認めないものとする。